

わんにゃん通信



寒い日が続きますね。お鍋が美味しい季節です。クリスマスが終わればあっという間に今年が終わってしまいます。

時が経つのは早いものです。寒い日を美味しい食事で乗り切いましょう！！



今月は
これ！

ワクチンが守る！

愛猫を怖い伝染病から守りましょう

子猫には3週間以上の間隔で2~3回の接種が必要です。

成猫には獣医師と相談の上、定期的な接種をおすすめします。

猫には犬と同様に感染し発症すると非常に死亡率の高い伝染病がいくつかあります。くしゃみの飛沫、便、食器の共有、グレーミングなどの日常生活の中で感染してしまうケースが殆どです。感染してから慌てるのではなくワクチンにより予防することでの感染を防ぐことが出来ます。



© イラスト無料 [DDBANK]

5種ワクチンで予防できる病気

3種ワクチンで予防できる病気

カリシウイルス
感染症

- この病気にかかる猫は非常に多く、風邪によく似たくしゃみ、鼻水、軽度の発熱などの症状を起こします。
- 口の中に潰瘍、水泡ができるのが特徴で、子猫の場合は他の病気との合併症により症状が悪化し、死亡することもあります。



ウィルス性
鼻氣管炎

- 感染猫のくしゃみや咳により感染します。
- いわゆる「猫風邪」と呼ばれる病気で、くしゃみ・鼻水・咳のほか、口内炎や結膜炎などが主な症状です。
- 重症になると死亡することもあります。



猫汎白血球減少症
(パルボウイルス)

- 感染猫の排泄物や、土中にあるウイルスから感染することもあります。
- 高熱・嘔吐・激しい下痢を繰り返し、子猫の場合は、きわめて死亡率の高い病気です。



クラミジア
感染症

- 主に感染猫との接触でうつります。
- 結膜炎が代表的な症状ですが、くしゃみ・鼻水・咳や肺炎を起こすこともあります。
- 重症になると死亡することもあります。



猫白血病

- 感染猫とのグルーミングやケンカなどで感染します。
- 感染初期に発熱や元気がなくなるなどの症状が見られます。その後、数か月～数年を経て発症します。
- 著しい免疫力の低下・貧血・白血病・腫瘍など、様々な病気を引き起こし、3年以内に80%が死亡します。



どちらを打つかは獣医師と
相談して一緒に決めましょう！

担当：新名